

教育・研究のグローバル・ハブへ オンライン上での国際交流を積極展開



CASE
STUDY

ソン ギュン ガン 成均館大学校

2020年にアジアランキングトップ10入りを果たした韓国最古の大学、成均館大学校。国内外の人材が交流できるオンラインプラットフォームを提供し、世界での評判を高めて、さらなるポジション向上を狙う。

世界トップを意識した国際戦略

「最高の知見と人材ネットワークを備えたグローバル・ハブになること」をゴールに掲げた国際戦略「Vision2020+」では、4つの目標を掲げています。最高レベルの教育によってグローバルリーダーを育成する「Global Power Elite」、世界クラスの研究成果を出す「Research with Impact」、世界から選ばれる人材を輩出する「Globally First Choice」、世界からの評価に構成員が誇りを持つ「Pride in Top」です。

この達成に向けて、例えば教育においては学際的な学びに力を入れています。AI、フィンテック、再生可能エネルギー、ドローン、次世代自動車などの専攻を新たに設けました。研究面では、1996年から経営に参画しているサムスン財団の支援も得て優秀な人材を積極的に招致。2011年に1000人だった研究者数は、現在は1500人を数えます。研究活動に対する助成は惜しみなく行っていますが、次世代を担うポストクおよび大学院生・学部生については、生活費もサポートし、研究を奨励しています。また、共同で高価な研究機器を使う共同研究機器室も設置しています。

国内外の知を融合させる新たな場を提案

本学では2003年にLMSを導入していたことから、コロナ禍を受けたオンライン授業への切り替えはスムーズに進みました。留学生についても、自国での試験を含む全ての学習活動を、オンライン環境で実施できています。しかし、コロナの流行収束後も以前の教育環境には戻らないと考えており、新しい教育システムの構築に向けたさらなる検討、投資を続けています。例え

戦略・企画室長

林宰煥

リン・ジェファン ●2005年に入社して以来、一貫してIRと評価を担当、主に世界的なブランドの評判の測定を通じて大学の国際戦略計画に関わる。各種大学ランキングデータ責任者。



ば、次世代の授業プラットフォームをつくるプロジェクト「ExCampus」はその一つ。「拡張キャンパス」の名の通り、誰もがいつでも学習に参加できる環境を生み出すことが目的です。まず第1シーズンとして本学の教員11人による講義をYouTubeにアップしており、第2シーズンは国内他大学の教員、2021年初頭の第3シーズンには外国人の教員による講義の提供を予定しています。

研究面でも、オンラインを活用して国際的な学会や会議を積極的に開催しています。2020年6月にはオンライン学会「Post COVID-19 world (ポストコロナ社会)」を主催し、多様な国・地域から社会科学分野の研究者が参加しました。また、「Global K-BioX」は、スタンフォード大学による生命科学分野の共同研究組織「BioX」の韓国支部として2020年に設置したもので、韓国、アメリカ、そして世界中の科学者の人材・情報交流の場となることをめざしています。スタンフォード大学の研究者、シリコンバレーの起業家30人によるビデオセミナーを開催し、ポストクや大学院生も含め、多くの研究者が参加しています。

2021年初頭には、第4次産業革命を支える人材を育成する次なる戦略、「Vision2030」を発表する予定です。この新たなビジョンののっとり、ニューノーマルの時代にふさわしい教育・研究の形を、今後も世界に問いかけ続けていきたいと考えています。

注目! ビジョンを基に改革を断行 アジアトップ10入り達成

同大学の戦略・企画室は、「Vision2020+」の達成に向け、教職員や学生への周知を徹底している。「2020年までにアジアトップ10入りを目標に掲げ、それを果たしたが、これはさまざまな改革の結果であり、大学の成長を示す証拠の一つ。全メンバーにビジョンが共有できたら、皆の力でランキングは自然に上がると信じています」と語る。



「学内の誰もがビジョンを常に思い出せるように」とキャンパスの至る所にビジョンのポスターを掲示



学生数 / 約23300人
学部 / 教養、教育、社会科学、芸術、理、情報通信、工、生命工、薬、医など
大学院 / 教養学、法学、理学、生命工学、医学など
THE世界大学ランキング2021 / 総合=101位
同アジア版2020 / 総合=10位